

鳥取県経済同友会西部地区 2019年度事業計画

〔 自 2019年4月 1日 〕
〔 至 2020年3月31日 〕

〔基本方針並びに重点事業〕

2018年度は、伯耆国「大山開山1300年祭」を追い風に国内外より観光客も増え、当地が目される機会となりました。昨年11月に開催されました全国経済同友会代表幹事円卓会議におきましても、全国への発信と併せ地元の賑わいに寄与出来た事と思います。本年10月には、西日本経済同友会会員合同懇談会の開催も予定され、当地の魅力の発信を更に強力で推し進めていきたいと考えます。

我々が活動してきたこの地域の活性化への取り組みは、新幹線計画、米子駅活性化に関する提言も含め、鳥取県西部地区にとどまらず大山・中海・宍道湖圏域の島根県東部地区にも大きな影響を与えるもので、他方面より大変高く評価を頂きました事は、大変有難いと存じます。

今年度より、昨年度まで活発に活動頂いた鳥取大学医学部連携特別委員会、女性活性化委員会等を廃止し新しい委員会組織を立ち上げさせていただきますが、従前の活動・実績を基に更なる高みを目指し、新たな気持ちで取り組みます。

目指すことは「地域の活性化」であり、それは皆さんの企業や家庭に還元されると信じます。今年度も「行動する同友会」で有り続けましょう。

各委員会方針

1. 鳥取県西部総合事務所との連携を通じ、地域活性化の実現に向けた取組
2. 島根県との連携を通じ、大山・中海・宍道湖圏域としての活性化への取組
3. 経済界と教育は表裏一体と考え、地元高等学校への講演活動の取組
4. グローバル化の進展にこの地域が乗り遅れる事の無い様に情報発信に取り組む
5. 関西学院大学との連携を軸に、当地インバウンド観光振興への取組
6. 地域全体の発展の為に、西伯・日野郡を含む検討と農林業の振興を検討
7. 広島経済同友会にて実施されている新人教育プログラム導入の可否を検討
8. 世界経済のキーワードの一つである、SDGsのこの地域への活用を検討
9. 日本を代表する重要港湾であり、水産業の一大拠点である境港の活性化を検討
10. 地域の歴史・文化・伝統を再認識し、地域活性化と将来への伝承について検討

〔実施事業〕

1. 会議の開催
 - (1) 定時総会
 - (2) 例会
 - (3) 幹事会
 - (4) 監事会
 - (5) 総務委員会
 - (6) 鳥取県成長戦略検討委員会
 - (7) 鳥取島根合同委員会
 - (8) 教育委員会
 - (9) 国際経済委員会
 - (10) 観光戦略委員会
 - (11) 大山圏域産業活性化特別委員会
 - (12) 新人教育検討特別委員会
 - (13) SDGs 検討特別委員会
 - (14) 境港活用特別委員会
 - (15) ふるさと教育特別委員会
 - (16) その他必要な特別委員会並びに会議
2. 基本方針・重点事業の実現のための提言
3. 境港等交通インフラの総合的整備への運動
4. 山陰自動車道早期完成への運動